

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2002-82675
(P2002-82675A)

(43)公開日 平成14年3月22日(2002.3.22)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード(参考)
G 1 0 K 15/02		G 1 0 K 15/02	5 B 0 7 5
G 0 6 F 17/30	1 1 0	G 0 6 F 17/30	1 1 0 G 5 K 0 6 7
	1 7 0		1 7 0 E
H 0 4 Q 7/38		H 0 4 B 7/26	1 0 9 T
			1 0 9 H
審査請求 未請求 請求項の数3 O L (全 6 頁)			

(21)出願番号 特願2000-273354(P2000-273354)

(22)出願日 平成12年9月8日(2000.9.8)

(71)出願人 393026179

株式会社コムスクエア

東京都中央区銀座3-4-12 文祥堂ビル
6 F

(72)発明者 向田 隆

東京都中央区銀座3-4-12 文祥堂ビル
6 F 株式会社コムスクエア内

(74)代理人 100094020

弁理士 田宮 寛社 (外1名)

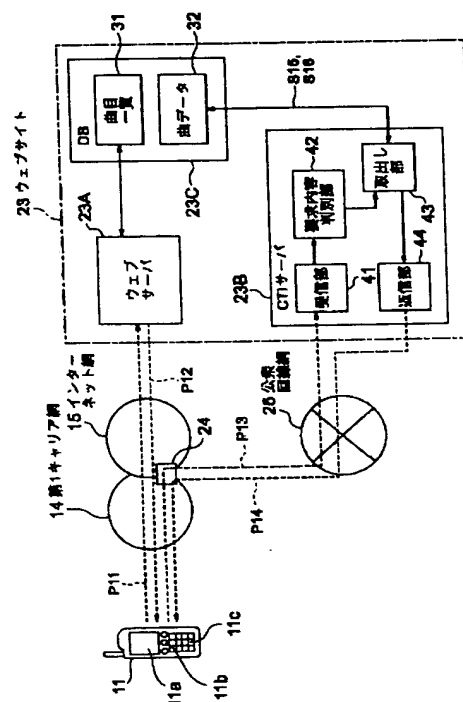
Fターム(参考) 5B075 ND14 PP03 PP13 PQ02 PQ46
5K067 AA34 BB04 DD13 DD54 EE04
EE10 FF25 HH05 HH22

(54)【発明の名称】 携帯電話への音コンテンツサービスシステム

(57)【要約】

【課題】 携帯電話による音コンテンツ要求のアクセスに対して要求された音コンテンツを迅速に提供し、当該サービスシステムをモジュール化し、安価にシステム構築できる携帯電話への音コンテンツサービスシステムを提供する。

【解決手段】 インターネット端末としての携帯電話11、12、13と、CITサーバ23Bとを含んで構成される。携帯電話11は、専用キャリア網14とインターネット網15を経由してウェブサイト23へアクセスする。音コンテンツを閲覧させるウェブサーバ23Aにアクセスしてその表示画面に複数の音情報項目を表示させる。携帯電話は、表示画面に表示された複数の音情報項目からいずれかを選択する選択操作部と選択された音情報項目の配信要求を行う要求操作部を有する。CITサーバは、携帯電話から送信されてくる配信要求に係る音情報項目を判別し、この音情報項目のデータをデータベース23Cから取り出して携帯電話へ返信する。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 専用キャリア網とインターネット網を経由して各種ウェブサーバへのアクセスを可能する機能部を含み、音コンテンツを閲覧させるウェブサーバにアクセスしてその表示画面に複数の音情報項目を表示させ、前記複数の音情報項目からいずれかを選択する選択操作部と選択された音情報項目の配信要求を行う要求操作部を有する携帯電話と、

前記携帯電話から送信されてくる前記配信要求に係る音情報項目を判別し、この音情報項目のデータをデータ記録部から取り出して前記携帯電話へ返信する判別・返信サーバとを含んでなり、

前記携帯電話で前記配信要求を実行すると、前記配信要求に係る指令信号は公衆回線網を経由して前記判別・返信サーバに送信されることを特徴とする携帯電話への音コンテンツサービスシステム。

【請求項2】 前記携帯電話から送信される前記配信要求に係る指令信号は発信者電話番号通知を含むことを特徴とする請求項1記載の携帯電話への音コンテンツサービスシステム。

【請求項3】 前記音情報項目は曲目であることを特徴とする請求項1記載の携帯電話への音コンテンツサービスシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、インターネットを経由した携帯電話による音コンテンツ要求のアクセスに対して要求された音コンテンツを提供する携帯電話への音コンテンツサービスシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】NTTドコモのiモード携帯電話のように携帯電話によってインターネットにアクセスできることが知られている。当該携帯電話はインターネット端末（携帯端末）として利用される。iモードの携帯電話の場合にはドコモ（Docomo）網という専用のキャリア網を経由してインターネット網に通じ、当該インターネット網を経由して各種のウェブサイト（コンテンツ・プロバイダ）にアクセスし、それぞれのホームページを閲覧することができる。携帯電話には、その他に、例えばJフォン系やワップ（WAP）系が存在する。これらの場合において、Jフォン系ではJフォン網を経由して、ワップ系（ID@（登録商標））ではE@網を経由して、それぞれインターネット網に入ることができる。

【0003】ここでiモード携帯電話等に関して音コンテンツ提供サービスを行うウェブについて説明する。iモード携帯電話等のインターネット端末とインターネット網とを利用して音コンテンツを提供する既存のサービスは、携帯電話でアクセスし、これに対する返信として音コンテンツを得ることのできるCTIリンクによるサービスとして知られている。この「CTI」は、コンピ

2

ュータ・テレフォニー・インテグレーション（computer telephony integration）を意味する。携帯電話でアクセスすると、CTIサーバが当該アクセスを受け付け、要求された音コンテンツを上記携帯電話に返信する。CTIリンクを利用した音コンテンツ提供サービスを行うウェブは、従来、顧客の各々の注文に応じた個別のインテグレーションとして構築されていた。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】上記のごとくインターネットを利用した従来の音コンテンツ提供サービスは、システム要望に応じて個別にウェブのシステム構築を行っていたため、製作費用がかかるものであった。他方、携帯電話によるアクセスに対応し得るウェブ（オフシャル・インターネット・プロバイダ）において、顧客サービスの向上や他のウェブによるサービスとの差別化の観点から、CTIを応用したシステムの構築の要望がある。このシステム構築は、事業として成り立ち得るものである。そこで、CTI応用のサービス提供システムであって、安価に製作することができるシステムが望まれている。

【0005】以上のごとく、音を聞かせることによって何らかのサービスを提供することを希望する企業・事業体に対して、ウェブの構築から音を聞かせるサービスの形態までを1つのシステムとして作ることは、マーケットとして十分な需要があると考えられる。また当該システムをモジュール化し、1つのパッケージとして提供し得るようにし、ASP（アプリケーション・サービス・プロバイダ）によるサービスとして確立することが望まれる。

【0006】本発明の目的は、上記の要望に応えることにあり、インターネット端末としての携帯電話による音コンテンツ要求のアクセスに対して要求された音コンテンツを迅速に提供し、さらに、当該サービスシステムをモジュール化し、安価にシステム構築できる携帯電話への音コンテンツサービスシステムを提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段および作用】本発明に係る携帯電話への音コンテンツサービスシステムは、上記目的を達成するために、次のように構成される。

【0008】本発明に係る第1の携帯電話への音コンテンツサービスシステム（請求項1に対応）は、インターネット端末としての携帯電話と、判別・返信サーバとを含んで構成される。携帯電話は、多数のユーザのそれぞれに所有されるものである。この携帯電話は、専用キャリア網とインターネット網を経由して各種ウェブサーバへのアクセスを可能する機能部を含み、さらに音コンテンツを閲覧させるウェブサーバにアクセスしてその表示画面に複数の音情報項目を表示させる機能を有する。また携帯電話は、表示画面に表示された複数の音情報項目

(曲目一覧等) からいずれかを選択する選択操作部と選択された音情報項目の配信要求(1つの曲目の音楽データ等の配信)を行う要求操作部を有している。判別・返信サーバは、音コンテンツが容易されたウェブサイトにおいて、上記の音コンテンツを閲覧させるウェブサーバと関連づけて設けられている。当該判別・返信サーバは好ましくはCTIサーバである。しかし、判別・返信サーバはCTIサーバに限定されるものではなく、将来において実現可能なシステムも概念的に含むものである。判別・返信サーバは、上記携帯電話から送信されてくる配信要求に係る音情報項目を判別し、この音情報項目のデータをデータ記録部(音コンテンツ用データベース)から取り出して携帯電話へ返信する。上記の構成によって、携帯電話で配信要求を実行すると、配信要求に係る指令信号は公衆回線網を経由して判別・返信サーバに送信される。配信要求に係る指令信号を受け取った判別・返信サーバは、配信要求された音情報項目のデータ(音コンテンツ)をデータ記憶部から取り出して、携帯電話へ送信する。携帯電話において音コンテンツの配信を受けたユーザは当該音コンテンツを楽しむことができる。

【0009】また本発明に係る第2の携帯電話への音コンテンツサービスシステム(請求項2に対応)は、上記の第1の構成において、携帯電話から判別・返信サーバに対して送信される配信要求に係る指令信号が発信者電話番号通知を含んでいる。判別・返信サーバは、通知された電話番号に基づいて、配信要求を行った携帯電話に対して音コンテンツの配信を行うようにする。

【0010】本発明に係る第3の携帯電話への音コンテンツサービスシステム(請求項3に対応)は、上記の第1の構成において、音情報項目は曲目である。特に本発明によるサービスを受けるユーザの層は若年層であることから、音コンテンツとして若者向けの音楽曲目が好ましい。

【0011】

【発明の実施の形態】以下に、本発明の好適な実施形態を添付図面に基づいて説明する。

【0012】図1は、本発明に係る携帯電話への音コンテンツサービスシステムの代表的実施形態を示し、音コンテンツサービスシステムの全体的な構成を関係図として示している。

【0013】図1では、携帯電話としてiモード端末11とJフォーン端末12とワップ端末13の例が示されている。iモード端末11はその専用の第1キャリア網(Docomo網)14を経由してインターネット網15に接続される。同様にJフォーン端末12は専用の第2キャリア網(J-Phone網)16を通してインターネット網15に接続され、ワップ端末13はその専用の第3キャリア網(Ez網)17を経由してインターネット網15に接続される。携帯電話によるインターネット網15を経由したウェブサイトへのアクセスの関する基本的動作は、

どの端末でも同じであるので、以下の説明ではiモード端末11に限って説明する。

【0014】ドコモ系のiモード端末11では現在のところオフィシャルIPとして約600ほどのアクセス可能なウェブサイトがインターネット上に設けられている。図1では一例として3つのウェブサイト21, 22, 23が示されている。かかるウェブサイトに対しては、そのURLを指定してアクセス起動すると、当該ウェブサイトのホームページに接続することができる。

【0015】図1において、ウェブサイト23は、本発明の特徴である音コンテンツサービスシステムとして構築されたウェブサイトである。このウェブサイト23は携帯電話であるiモード端末11に対して音コンテンツを提供するサービスを実行するように構成されている。ウェブサイト23にはウェブサーバ(Web)23AとCTIサーバ(CTI)23Bとデータベース(DB)23Cが含まれている。ウェブサイト23AとCTIサーバ23Bとデータベース23Cは、ラン(LAN)23Dで接続されている。

【0016】ウェブサイト23では、iモード端末11から、第1キャリア網14とインターネット網15を経由してアクセスがあると、ウェブサーバ23Aがこれを受けてiモード端末11に対してホームページを示して接続を開始する。ウェブサイト23は音コンテンツ、例えば音楽曲目を提供するサービスを行うサイトであるので、ウェブサーバ23Aはそのホームページにおいて聴くことのできる曲目の一覧を表示する。すなわち、ユーザのiモード端末11の表示画面において音コンテンツを閲覧させる。iモード端末11とウェブサイト23との間の特徴的な要求・応答のやり取りの詳細については後述される。

【0017】CTIサーバ23Bは、後述するごとく、iモード端末11から、第1キャリア網14、交換機24、インターネット網15、電話回線、および公衆回線網25を経由して送られてくる要求に回答し、その要求内容を判別し、その要求に応えるべくデータベース23Cに必要な音コンテンツ(曲データ)を取出しに行き、その後、得られた音コンテンツを反対方向のルートを通してiモード端末11に返送する。

【0018】ウェブサイト23におけるウェブサーバ23A、CTIサーバ23B、データベース23Cの構成および関係を示すと図2に示すごとくなる。またiモード端末11とウェブサイト23の間における要求と応答のやり取り、およびウェブサイト23における処理は図3に示される。図2と図3を参照して音コンテンツのサービスについて説明する。

【0019】iモード端末11において例えばURLを入力し、第1キャリア網14とインターネット網15を経由してウェブサイト23にアクセスする(手続きP11)。このアクセス(手続きP11)はウェブサイト2

3のウェブサーバ23Aに対して行われる。このアクセスを受けると、音コンテンツを閲覧させるウェブサーバ23Aは、データベース23Cに記憶される曲目の關する一覧データ、すなわち曲目一覧31を読みに行き（処理ステップS11）、これを取り出し（処理ステップS12）、アクセスを行ったiモード端末11に対して曲目一覧を表示する（手続きP12）。ユーザにおいては、iモード端末11の表示画面11aに表示された曲目の一覧を見て、表示画面に表示された指定カーソルを動かして自分の好きな曲目を選択することができる。そこで、ユーザがiモード端末11においてカーソルキー11c等を用いて曲目を選択し、切換ボタン11bによって選択を確定する（操作ステップS13）と、iモード端末11による接続状態は一端切れる。その後、電話が自動的にかかり、第1キャリア網14、交換機24、インターネット網15、さらに公衆回線網25を経由してCTIサーバ23Bに対して電話呼出しが行われる。電話回線を利用した電話呼出しに基づいて、選択した曲目の配信が要求される（手続きP13）。この配信要求はCTIサーバ23Bに対して行われ、CTIサーバ23Bの受信部41が配信要求を受信する。受信部41は受信した配信要求を要求内容判別部42に送る。要求内容判別部42は配信要求された曲目を判別する（処理ステップS14）。判別された曲目情報は、要求内容判別部42から取出し部43に与えられる。取出し部43は、与えられた曲目情報に基づいてデータベース23Cに記憶された曲データ32を読み出しにいき（処理ステップS15）、曲目情報に係る曲データを取出す（処理ステップS16）。取出し部43は、取り出した曲データを返信部44へ送る。返信部44は受け取った曲データを公衆回線網25、インターネット網15、交換機24、第1キャリア網14を経由してiモード端末11へ返信する（手続きP14）。曲データを受信したiモード端末では、選択した曲目に係る音楽情報を得ることができ、これを聴くことができる。

【0020】上記において、CTIサーバ13Bの返信部44からiモード端末11に対して曲データの返信（手続きP14）を行えるようにするために、iモード端末11からCTIサーバ23Bへの曲目の配信要求に係る電話呼出し（手続きP13）は、好ましくは、発信者電話番号通知で行われる。これによって、発信者であるiモード端末11に対して曲データが返信を行うことが可能となる。なお、返信を行得るようにするための通信原理は、これに限定されるものではないことは勿論である。

【0021】上記実施形態の説明では、音コンテンツのサービスとして音楽曲目の選択と選択した音楽を受信して聴く例を説明したが、音コンテンツはこれに限定されない。サービスの内容に応じて任意に用意することができる。また上記の例ではiモード端末11によるアクセスに対する音コンテンツのサービスであったが、Jフォン端末12あるいはワップ端末13によるアクセスであっても同様に音コンテンツサービスを行うことができる。

10 【0022】前述したウェブサイト23に基づく音コンテンツサービスのシステムは、個別のシステムと構築されるものではなく、各種の音コンテンツの提供サービスを行うことを予定するオフィシャルがインターネットプロバイダに対してパッケージサービスとしてあるいはモジュール化して構成し、提供することができるものである。従って、従来の個別に構築されたシステムと比較して、イニシャルコストを下げ、極めて製作コストを安価にすることができ、さらに汎用性と応用性を高めることができる。

20 【0023】

【発明の効果】以上の説明で明らかなように本発明によれば、携帯電話に対する音コンテンツサービスを実現するウェブサイトとしてCTIを利用して構成するようにし、かつモジュール化して音コンテンツサービスシステムを実現するようにしたため、製作コストを低減でき、汎用性および応用性を高めることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る携帯電話への音コンテンツサービスシステムの全体的な関係を示す構成図である。

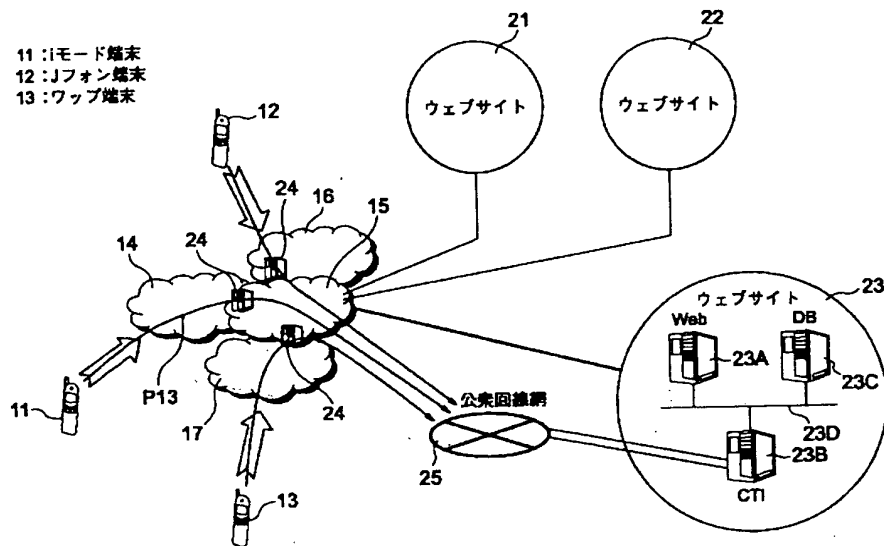
30 【図2】音コンテンツサービスシステムに係るウェブサイトの内部構成と、その働き、および携帯電話とのやり取りを示す図である。

【図3】iモード端末とウェブサイト23との間で行われる手続き、操作、処理等のやり取りを示すフローチャートである。

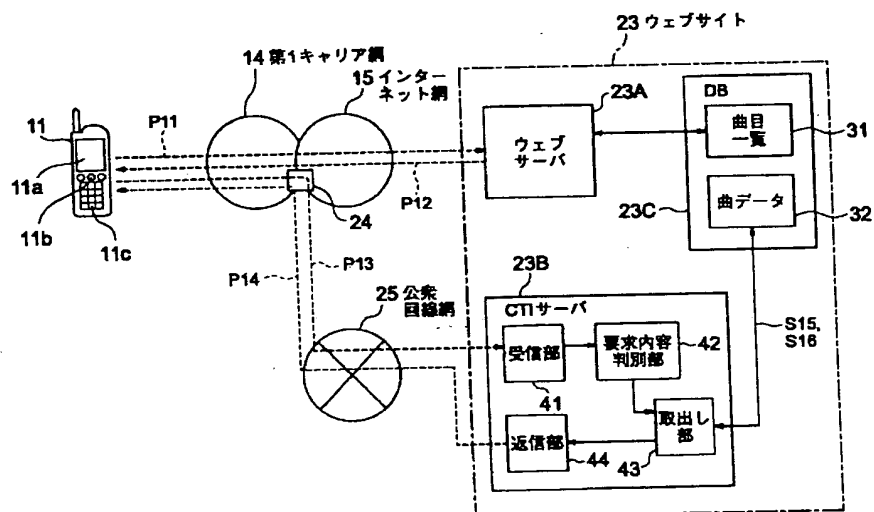
【符号の説明】

11	iモード端末
12	Jフォン端末
13	ワップ端末
14	第1キャリア網
15	インターネット網
16	第2キャリア網
17	第3キャリア網
21, 22, 23	ウェブサイト

【図1】



【図2】



【図3】

